

科目名	病害虫総合管理実習	教員名	はちや かずひこ 八谷 和彦	開講 コース	作物生産 花 園 芸	2 年次	前・後期
<p>・目的と内容</p> <p>1 年次の病害虫管理学では、クリーン農業時代にふさわしい病害虫防除技術の基本を学んだ。本実習では、その延長として、農場や実験室において、 実際に病害虫の姿を詳しく観察することにより、病害虫を見る目を養う、 病害虫の発生に合わせた防除対策を実践する、 講じた防除対策の効果の程度を定量的に把握する。 これらの実習によって、農薬とそれ以外の方法による総合的な病害虫管理技術を身につける。</p>							
<p>・授業計画 [単位数：2 単位、授業週数：2 3 回]</p>				<p>2 コマ連続授業</p>			
<p>[前期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 . 演習の全体説明、コムギの病害(座学) 2 . コムギの雪腐病の圃場観察・検鏡診断 3 . イネ玄米の病害虫被害の観察・診断 4 . コムギうどんこ病の圃場観察・検鏡診断 5 . イネ害虫の越冬調査、野菜害虫トラップの設置 6 . ダイコン病害虫防除試験の播種時処理、ほか 7 . ダイズ等のタネバエの診断・検鏡、ほか 8 . ダイズ害虫防除試験の播種時処理、ほか 9 . センチュウの土壌からの分離・検鏡 10 . コムギうどんこ病発生調査、ダイズ害虫発生調査 11 . イネの初期害虫の圃場観察・発生調査 (農家圃場) 12 . 害虫誘導多発生実験の薬剤処理、病害虫採集ゲーム 13 . ダイコンおよびキャベツの防除試験の結果調査 14 . コムギの夏期病害の圃場観察・検鏡診断、ほか 15 . イネの夏期害虫の圃場観察・発生調査、ほか 				<p>[後期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 . イネとタマネギの夏期病害の圃場観察・発生調査 2 . ダイズ等のハダニ類、コナジラミ類の観察・調査 3 . 害虫の発生予察法、コナガ発生消長レポート作成 4 . 害虫の増殖・死亡、害虫誘導多発生レポート作成 5 . 薬剤防除試験法、キャベツ防除試験レポート作成 6 . アザミウマ類・アブラムシ類の検鏡・同定 7 . 要防除水準と総合的病害虫管理の基本 (座学) 8 . 農薬の安全・適正使用法、期末試験 (小テスト) 			
<p>・講義の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病害虫の発生状況や天候などにより、授業計画を大きく変更することがある。 ・授業は、学内の実験室および本学付属農場で行う。また、1 回、学外の病害虫多発圃場でも実施する。 ・各種調査結果は、レポートとしてとりまとめる。 							
<p>・試験と成績評価</p> <p>出席数と実習態度、病害虫検鏡・診断スケッチ等、各実習テーマのレポート、最終回の期末試験(小テスト)の4つを合計して評価する。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>実習中には農作業もあるが、体で覚えることよりも、目で見て頭で覚えることが多い実習である。最終的にどれだけ覚えることができたかで科目の成績が決まるので、欠席せず、真面目に受講すること。また、欠席するとレポートが書けなくなるので、注意すること。 防除対策として農薬を使用することもあり、危険を伴うことから、慎重かつ真面目に受講すること。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：なし。毎回、必要なプリントを配布する。 参考書：『病害虫・雑草防除の基礎』大串龍一著 (農山漁村文化協会) 2007 『北海道病害虫防除提要』北海道植物防疫協会編 (北海道植物防疫協会) 2004 『植物防疫講座(病害編、害虫・有害動物編)』植物防疫講座第 3 版編集委員会(日本植物防疫協会)2003</p>							